

## 入院を予定されている患者・ご家族の方へ（ワクチン接種のお願い）

日本においては、毎年多くの子どもたちがワクチンで予防できるはずの病気にかかり、入院して治療をすることになったり、重い後遺症で苦しんだりしています。国内における定期接種（公費負担）のワクチンは限られています、任意接種のワクチンで防げる病気もあります。

これから入院されるお子様が病棟内ではしか（麻疹）・水ぼうそう・風疹・おたふくかぜ等の感染症を発症してしまうと、お子様だけでなく病棟に入院中の多くの患者さんの治療が長期間にわたり中断し、新たな患者さんの入院が制限され、また、免疫力の弱い患者さんの生命が危険にさらされることとなります。

当院では、1歳以上の子どもは入院1ヶ月前までに、特に感染力が強く感染管理上重要であるという理由で、優先度の高い順に

- 第1に、水ぼうそう（水痘）ワクチン、
- 第2に、MR（麻疹・風疹混合）ワクチン、  
の接種を強くお願いしています。

これらのワクチンを接種していない、あるいは記録が無い場合はかかりつけの医師にご相談ください。

なお、日本で接種可能なワクチンも年齢に応じて出来る限り接種し、予防することを推奨しています(表)。

表：日本で接種できる主なワクチンとワクチンで防げる病気

ワクチンで防げる病気	ワクチンの種類
水ぼうそう	水ぼうそう(水痘)ワクチン
麻しん(はしか)・風しん おたふくかぜ	MR(麻しん風しん混合)ワクチン おたふくかぜ(ムンプス)ワクチン
B型肝炎	B型肝炎ワクチン
ロタウィルス胃腸炎	ロタウィルスワクチン
ジフテリア・百日せき・破傷風	3種混合(DPT)ワクチン
結核	B C G
ポリオ	生ポリオワクチン
日本脳炎	日本脳炎ワクチン
インフルエンザ	インフルエンザワクチン
細菌性髄膜炎などの インフルエンザ桿菌感染症	ヒブワクチン
細菌性髄膜炎などの肺炎球菌感染症	小児用肺炎球菌ワクチン
子宮頸がんなどのヒトパピローマウィルス	ヒトパピローマウィルス(HPV)ワクチン